

## 最先端の研究と 補聴器テクノロジーをつなぐ架け橋として

聴覚専門の国際的研究機関、エリクスホルム研究センターから日本の皆さまへ  
エリクスホルム研究センター所長 ジェームズ・ハート博士

私はエリクスホルム研究センター(以下「ERC」)で、才能あふれる研究者達とともに最先端の研究に関わり、心躍る毎日を送っています。ERCは補聴器業界で唯一の独立した研究機関として1976年に設立されました。現在は約40の世界有数の学術研究機関や医療機関と聴覚に関係する共同研究を進めるとともに、基礎研究の成果をイノベーションや新技術に変換し、製品開発に反映させるということも行っています。学術分野最先端の研究と産業との架け橋となる重要な役割を担っていると実感しています。

短期的な製品開発のための研究とは一線を画し、ERCでは5年から10年に渡る長期的な視点で研究を実施しています。オーティコンの補聴器開発の源である「ブレインヒアリング」という考え方も、ここERCで行われた基礎研究を元にして生まれました。私たちの研究は、難聴者の人生や生活を変えうる技術(Life-Changing Technology)を提供するオーティコンの原動力の基礎となっています。

「聞きたいと思う音に優先的に注意を向けること」は社会活動には欠かせないことなのですが、補聴器を使用している難聴者の方々には自然に行えないのが実情

です。このために社会活動への参加が消極的になると認知機能低下のリスクを高めてしまうことにつながります。ERCではこのことに注目し「聞きたい音に注意を向ける」という脳のプロセスを研究し、その成果を次世代の補聴器開発に応用しようと努めています。

私たちは、難聴のある方々を中心にすえ、その方々の日常生活をサポートし、社会活動への参加レベルを高めていただくことを目標として研究活動を進めています。補聴器自体がよりいっそうインテリジェンス(知性)を高め、装用者の状況やニーズを的確にとらえ、そして補聴と同時に認知機能も健康に保てるようにサポートする——そのような世界の実現を目指し、私たちは日々研究を続けています。

ジェームズ・ハート博士

英国・サウサンプトン大学で博士号を取得、一貫して聴覚研究の道を歩む。国際的な聴覚診断機器メーカー、インターアコースティクス社の研究ユニット長を経て2020年1月、エリクスホルム研究センター所長に就任。来日時に感じた日本のおもてなしの心と、新幹線の効率性に強い印象を受けたと話す。登山、ロッククライミングが趣味。将来、日本の山に挑戦することを楽しみにしている。





オーティコンの「コネクトクリップ」を使い、海外の友人とフリーハンズ通話を楽しんだり、YouTubeで海外の動画を観たり。新型コロナウイルスの影響で海外旅行ができない分、インターネットは貴重な海外への扉だ。

LIFE

## ITの力で、聴覚障害者にとって もっと便利な社会へ

東京都 井上晶雄さん



手話+4か国語をマスターした井上さん。語学学習のコツは「ひたすら書いて語彙をふやすこと」と「音読」。なんと、あと3か国語は習得したいそう。

一昨年、「IoT 補聴器」に関心をもち色々調べました。IoTとはInternet of Things、「モノのインターネット」という意味です。オーティコンの補聴器は「IoT 補聴器」であるだけでなく「脳の聞く働きをサポートする」というコンセプトに基づいて作られているという点にも惹かれました。

IoT機能を使って、補聴器のスイッチを入れると同時に部屋中の照明をオンにしたり、補聴器のモードに併せて切り替わるようにしています。通信系企業の技術職である僕は少しプログラムを加工して、補聴器のバッテリー持続時間が自動でLINEに通知されるよう、自分なりに工夫して便利に使っています。※(IFTTT(イフト))というプラットフォームを使用)

他にもiPhoneやiPadの音声を直接補聴器で聞くことができたり、別売の「コネクトクリップ」を使うとパソコンの音楽やオンライン会議の音声をクリアに聞くこともできます。そのため、会社で勤務中に音楽を聴いていても、見た目は補聴器ですから誰にも気づかれない、という良さもあります(笑)。

趣味は旅行、語学学習とピアノ、サッカーです。これまでに英語、中国語など手話を含めると5つの言語を学びました。「なぜそんなに?」とよく聞か

このコーナーでは「あなたのライフチェンジ!キャンペーン “補聴器と共に過ごす豊かな時間エッセイ・体験談募集”」にご応募くださったお客様の作品の中から、弊社編集部で新たに取材・構成の上掲載させていただきます。

聞こえの詳細な検査は、耳鼻科専門医を受診してください。補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装着者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。



7年前から独学で練習しているピアノ。初めは譜面に「ド」「レ」とふりがなをつけながら練習していた。クラシックの名曲や映画音楽など、いまやレパートリーは約30曲！

れますが、言語にはその国の文化を知ることができる面白さがあるから。補聴器の性能が進化して、外国語の子音がはっきり聞き取れるようになったため、海外の友人に聞き返すことが減りました。一方、ピアノは学生時代から独学で始めました。一生かかっても終わらないくらい膨大な数のクラシック曲の中からやりたい曲を選び、ひとつひとつ挑戦しては習得していくプロセスが楽しいのです。

語学もピアノも、新しい体験は脳による刺激を与えてくれます。そういえば、オーティコンの「脳で音を聞いている」という考え方は、まさに小学生のころから補聴器を装着している僕

ら補聴器を装着している僕に近く、無自覚のうちに脳が音を処理している、という感覚があります。

これからの夢は、僕がこれまで難聴のために直面した問題を IT の力で解決すること。今、プライベートな時間を使って障害者手帳を持つ人がもっと便利に生活できるようなアプリケーションを開発したいと考えています。聴覚障がい者にとって今よりも一歩、便利な社会を実現したいのです。 (2020年7月取材)

川柳コーナー

# 一聴来福

補聴器で  
楽しいおしゃべり  
長くなる

(福岡県 Nさん)

補聴器の  
父口ずさむ  
愛唱歌

(福岡県 Kさん)

照れつつも  
選んだ補聴器  
妻とペア

(神奈川県 Fさん)

補聴器や聞こえに関する川柳を募集しています。詳しくは応募方法をご覧ください。

## あなたのライフチェンジ！キャンペーン応募方法

オーティコン補聴器では、あなたの作品をお待ちしております。

■あなたの体験談「補聴器と過ごす豊かな時間」  
補聴器を使用されるようになってからの「豊かな時間」をテーマに「楽しかった思い出」「お気に入りの過ごし方」「夢中になっている趣味」などを400字程度の短文にまとめてご応募ください。Web マガジンに掲載させていただく場合は弊社スタッフがお伺いし、より詳しくお話を聞かせていただけます。ご本人のほか、ご家族、親近者の方からもご応募いただけます。

■川柳「一聴来福」  
補聴器や聞こえに関する川柳をお寄せ下さい。1回の応募で5篇まで応募できます。

【締切】2020年12月31日（郵送は当日消印有効・メール、FAXは当日24時まで）

【応募資格】オーティコン補聴器をお使いの方、またはそのご家族・親近者

【発表】キャンペーン特設サイト

<https://www.oticon.co.jp/event/lifechgcmp>

または本Webマガジン「Change」上に掲載させていただきます。

【賞品】優秀作品（Webマガジン「Change」掲載作品）：商品券1万円分  
入選作品：商品券5000円分

【応募方法】ご氏名、ご住所、電話番号を明記の上「オーティコン補聴器 ライフチェンジ！キャンペーン事務局」宛にお送りください。ペンネームでの掲載をご希望の方も、ご応募は必ずご本名でお願い申し上げます。

Eメール：jp.marketing@oticon.co.jp FAX：044-543-0617  
郵送：〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地ソリッドスクエア西館16階

【締切】2020年12月31日（郵送は当日消印有効・メール、FAXは当日24時まで）  
※優秀作品の選考対象は10月31日迄のご応募までとさせていただきます。

※注意事項：ご応募に際しては下記にご同意いただいたものとします。

- ・応募作品はご自身により創作された未発表のものに限ります。
- ・応募作品は返却いたしません。また、入選・優秀作品の発表や冊子掲載に関する著作権は、二次利用を含め、オーティコン補聴器に帰属するものとします。
- ・二重投稿や著しい類想類似が判明した場合は、受賞を取り消す場合があります。
- ・個人情報取り扱いについては、左記URLに記載の「個人情報の取り扱いについて」をご確認ください。



and  
balance  
solutions

Patient care made  
professional

Audiometers  
Middle Ear Analyzers  
OAE  
ABR / ASSR  
VEMP  
Hearing Aid Fitting  
oticonacoustics.com

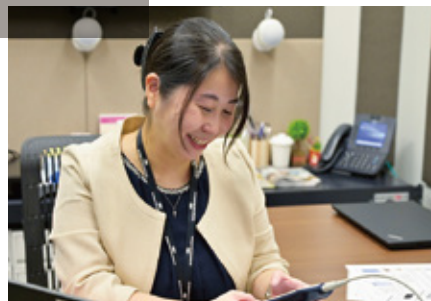
Affinity  
Compact

Clever made  
compact

Introducing  
SCAB, SET  
and Voice  
Switching

SCENE

海外の新製品をできるだけ早く日本の聴覚検査の現場へ届けたいと、日々全力投球。



新製品「アフィニティーコンパクト」の新機能、環境ノイズ・音場調整機能を展示会場で実演。

## 最新の技術を搭載した聴覚検査機器を 少しでも使いやすく。

ダイアテックカンパニー プロダクトマネージャー 榮田真衣（言語聴覚士）

私はオーティコン補聴器と同じデマントグループの聴覚検査機器部門である、ダイアテックカンパニーに所属しています。海外本社で開発された新製品を日本の臨床現場に則すよう最適化させる作業や、既存製品のアップデートや管理を行うのが私の仕事。現場の医療従事者や補聴器認定技能者から信頼され、使いやすい製品となることを目指しています。言語聴覚士としての知識や病院勤務の経験も現職で非常に役立っています。

補聴器テクノロジーの進化に伴い、検査機器のテクノロジーも大きく進化しています。例えば最近発売した新製品は、補聴器適合検査を1台で実施でき、最新のテクノロジーを用いてコンパクトながら、臨床現場

からの要望に応じた新しい機能も搭載しています。より正確な測定ができ、結果をわかりやすく説明するツールも備えているため、補聴器ユーザーの皆さまにより質の高いフィッティングを提供できます。難聴の発見から補聴まで、あらゆる聞こえのケアを提供できるのがデマントグループの強み。日々の仕事を通じてより良い製品をお届けすることで、日本の聴覚ケア業界および聞こえに悩む方に少しでも貢献できたら嬉しいです。



### 笑顔をお届け隊！ もう少し現役で働きたい

日々の仕事や出張でご多忙な50代女性のU様は、使い慣れた補聴器が最近聞き取りにくくなり、仕事にも差し支えストレスになっていると悩まれていました。最新の補聴器をご提案しましたが、「引退も近いので…」と初めは消極的でした。しかし最新の補聴器を試聴いただいたところ、聞こえが改善されただけでなく「補聴器

とスマホが連動するなんて！」と驚かれ購入されました。引退を考えていたU様が自信を取り戻され「もう少し第一線で頑張ろうと思う」と言われたことが大変嬉しく、改めて補聴器のテクノロジーは聞こえに悩む方の力になれるのだと、この仕事の意義を実感しました。

（営業本部西日本エリア・門前 勇樹）

補聴器についてのご相談、資料請求は

お問い合わせ窓口

オーティコン補聴器

[www.oticon.co.jp](http://www.oticon.co.jp)

オーティコン 検索

TEL **0120-1133-21** (フリーコール)

受付時間 平日9:30~17:30 (土日祝日を除く)

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館16F  
電話:044-543-0615(代) ファックス:044-543-0616